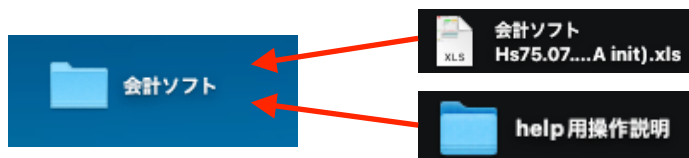


## 1.1.1 会計ソフトの立上げ

### (1) 会計ソフトを入れるフォルダを作成し ソフトをコピーする

- ① ディスクトップに「**会計ソフト**」を入れるフォルダを作成してください
- ② 圧縮ファイルを解凍し「**会計ソフト\*\*\*.xlsm**」と「**help用操作説明**」を「**会計ソフト**」のフォルダにコピーしてください

\* 「help用操作説明」には、help 機能で表示するための pdf ファイルが入っています

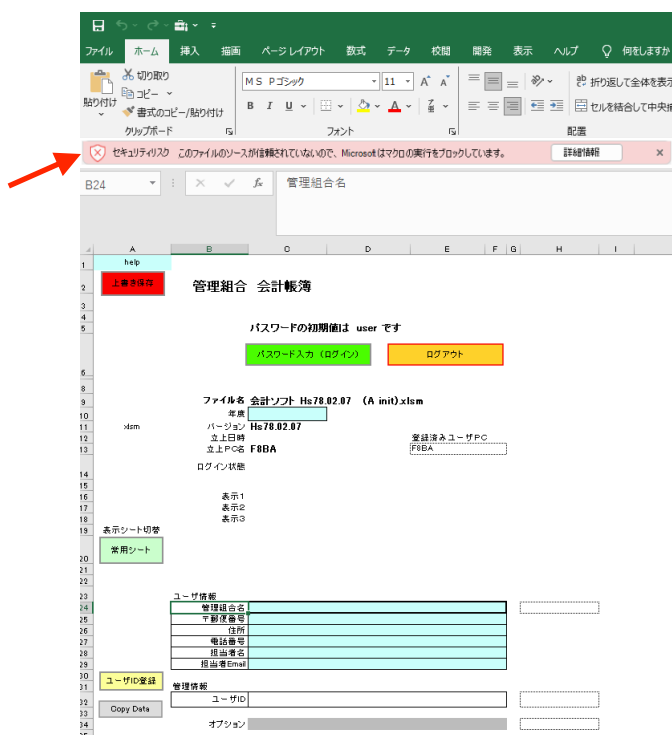


### (2) 会計ソフトを開く

- ① 会計ソフト Hs7\*.\*\*\*.\*\*\*(A init) のファイルをダブルクリックして開く

・メッセージバーに

「**セキュリティリスク**・・・Microsoftはマクロの実行をブロックしています」が表示される場合は、操作説明「**1.a セキュリティリスクが表示される場合**」をご確認ください。



- ② セキュリティリスクが解消できたら、操作説明「**1.1.2 マクロの設定**」に進んでください

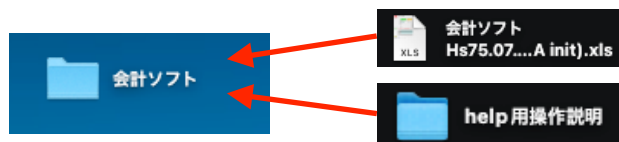
## 1.1.2 マクロの設定

### (1) Excelの「マクロの設定」を行う

会計ソフトはマクロで動作しますので、Excelマクロの動作環境の設定が必要です

#### (1)– 1 会計ソフトを開く

会計ソフト Hs7\*.\*\*\*.\*\*\*(A init) のファイルをダブルクリックして開く



#### (1)– 2 ファイルが開いたら Excelの「マクロの設定」を行います マクロの設定画面に移動します

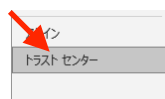
① Excel シートの 画面左上の「ファイル」タブをクリック



② 画面左下の「オプション」をクリック



③ ポップアップ画面の「トラストセンター」をクリック



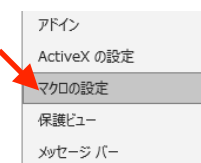
④ ポップアップ画面の右中央の「トラストセンターの設定」をクリック

Microsoft Excel トラストセンター

トラストセンターではセキュリティとプライバシーに関する設定を行います。この設定により、コンピューターを保護することができます。この設定は変更しないことをお勧めします。

トラストセンターの設定(1)...

⑤ ポップアップ画面の左中央の「マクロの設定」をクリック



- ⑥ マクロの設定の「**すべてのマクロを有効にする**」を選択し  
開発者向けの**マクロの設定の「チェック」を「ON」**にする

マクロの設定

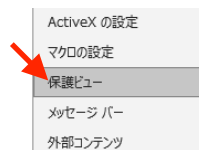
- ☐ 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L)
- ☐ 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)
- ☐ デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G)
- ☒ すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E)

開発者向けのマクロ設定

- ☒ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(V)

**＊「すべてのマクロを有効にする」の設定ではセキュリティが心配な場合は  
ページ5 の「1.1.4 信頼できる場所を登録する」をご参照ください**

- ⑦ ポップアップ画面左中央の「保護ビュー」をクリック



- ⑧保護ビューの「**チェックをすべてOFF**」にする

保護ビュー

保護ビューでは、セキュリティに関するメッセージを表示せずに、危険性のあるファイルを制限モードで開きます。これは、コンピューターへの悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。保護ビューを無効にすると、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。

- ☐ インターネットから取得したファイルに対して、保護ビューを有効にする(I)
- ☐ 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護ビューを有効にする(L) (i)
- ☐ Outlook の添付ファイルに対して、保護ビューを有効にする(O) (i)

信頼できないソースからのテキストベースのファイル (.csv、.dif、.sylk) を開くためのセキュリティ設定

- ☐ 信頼されたビューで常に信頼関係のないテキストベースのファイル (.csv、dif、sylk) を開く(I)

信頼できないソースからのデータベース ファイル (.dbf) を開くためのセキュリティ設定

- ☐ 信頼されていないデータベースファイル (.dbf) を常に保護ビューで開く(D)

- ⑨右下の「OK」をクリック



- ⑩ポップアップ画面の右上の「x」をクリックして、オプション画面を閉じます

以上で「マクロの設定」は終了です

**Excel の上書き保存を行い、ファイルを閉じます**



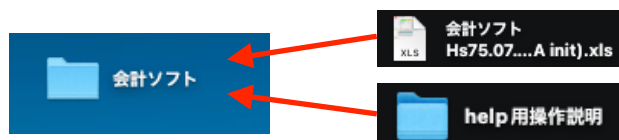
**ファイルを再起動して、ログイン動作を確認してください**

## 1.1.3 会計ソフトの動作確認

### (1) 会計ソフトを開いて動作を確認する

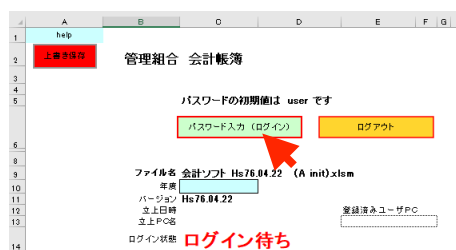
#### (1)-1 会計ソフトを開く

会計ソフト Hs7\*.\*\*.\*\*(A init) のファイルをダブルクリックして開く

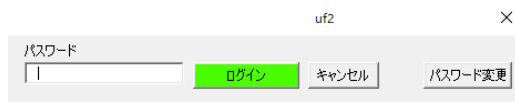


#### (1)-2 「ログイン」シートで 会計ソフトの動作を確認する

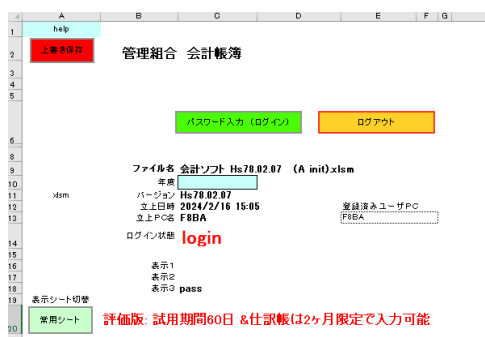
① 「ログイン」シートの「パスワード入力」をクリック



② ポップアップのパスワード入力が表示されるので  
パスワード（初期値は user ）を入力し「ログイン」をクリック



③ ログイン待ちの表示が「Login」になれば動作はOKです



#### (1)-3 操作中に「エラー400」や「エラー1004」が表示される場合

操作説明「1.b エラー 400 や 1004 が発生する場合」をご確認ください

## 1.1.4 「信頼できる場所」を登録する

マクロの設定の「すべてのマクロを有効にする」の設定に不安がある場合は  
トラストセンターで「**信頼できる場所**」を登録してください

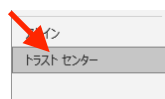
①画面左上の「ファイル」タブをクリック



②画面左下の「オプション」をクリック



③ポップアップ画面の「トラストセンター」をクリック



④ポップアップ画面の右中央の「トラストセンターの設定」をクリック

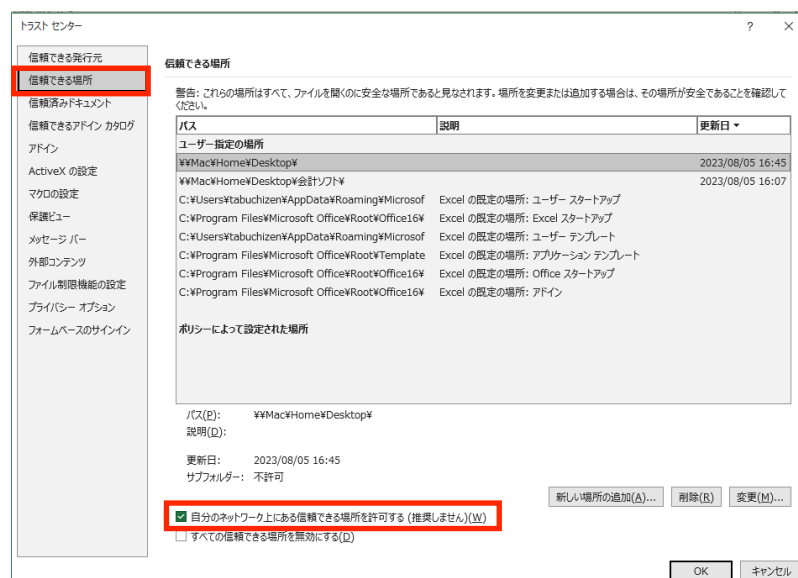
### Microsoft Excel トラストセンター

トラストセンターではセキュリティとプライバシーに関する設定を行います。この設定により、コンピューターを保護することができます。この設定は変更しないことをお勧めします。

トラストセンターの設定(I)...

⑤ポップアップ画面の左上の「信頼できる場所」をクリック

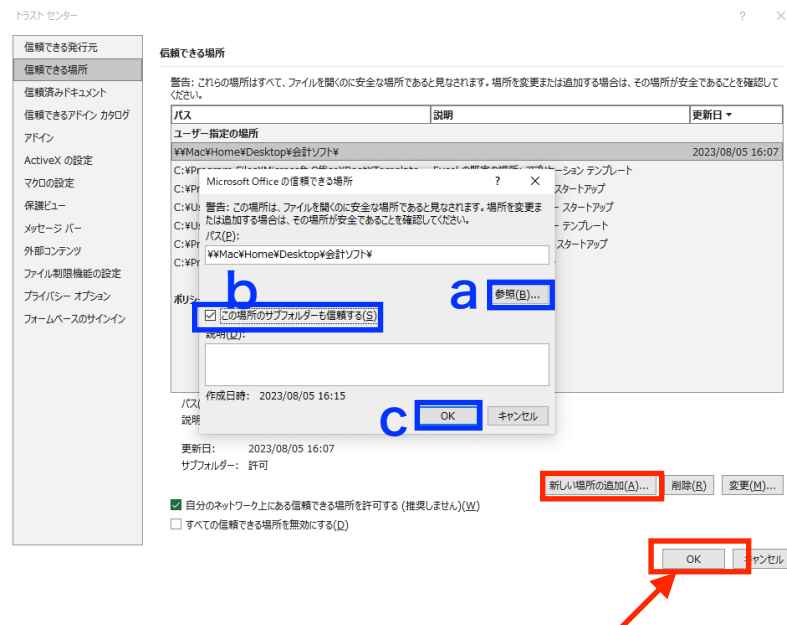
- (1) 「**自分のネットワーク上にある信頼できる場所を許可する**」を**チェック**する  
「**すべての信頼できる場所を無効にする**」の**チェックを外す**



## (2) 「新しい場所の追加」をクリックする

信頼できる場所の設定ポップアップが表示される

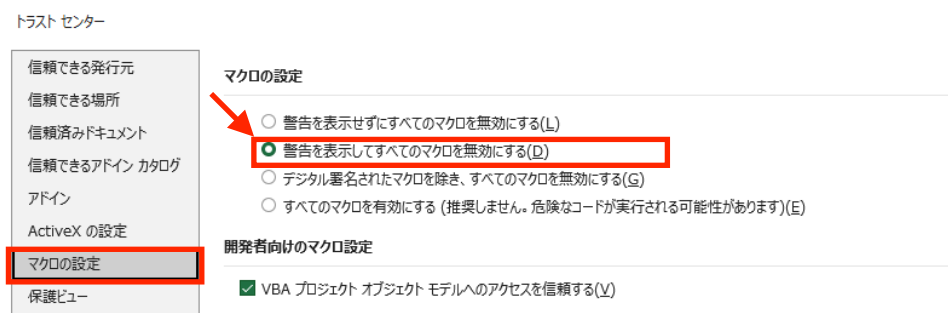
- 「参照」をクリックし「会計ソフト」のフォルダを選択する
  - 「この場所のサブホルダーも信頼する」にチェックを入れる
  - 「OK」をクリック
- ポップアップが閉じる



## (3) 「信頼できる場所」の設定の「OK」をクリック

## ⑦ 「トラストセンター」の「マクロの設定」を変更する

- 「マクロの設定」をクリック
- 「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」を選択する



■ 以上の設定で「信頼できる場所」のマクロのみが動作可能になり  
セキュリティが強化されます